

単元名 100cmを こえる 長さ

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 長さの普遍単位mについて理解し、対象の長さや目的に応じて適切に単位を選択し、長さを測定することができる。
 (2) 長さの普遍単位mの必要性に気付き、既習事項に基づいて、100cmを超える長さの表し方を考えることができる。
 (3) 長さの普遍単位mに関心をもち、いろいろな長さを測定しようとする。

標準的な展開例

02040302_001

【準備等】30cmものさし、100cmものさし、紙テープ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 両手を広げた長さに関心をもち、その長さを調べる。[p. 80・p. 81]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○両手を広げた長さに印を付ける。 ○両手を広げた長さを30cmものさしで測る。 ○両手を広げた長さを100cmものさしで測る。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★100cmをこえる長さの、べつのあらわし方についてしらべていこう。 <p>2 mの単位を知り、物の長さをmを使って表す。[p. 82]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★mをつかって長さをあらわそう。 ○mについて知り、書き方の練習をする。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>3 1 mの長さを作ったり、身の回りから見付けたりする。[p. 83]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★1 mの長さをつくって、たしかめてみよう。 ○紙テープを1 mと思う長さに切る。 ○紙テープの長さを測って確かめる。 ○身の回りから、1 mくらいの長さの物を探す。 <p>4 身の回りの物の長さを予想してから測る。[p. 84]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★1 mの長さをもとにいろいろなものの長さをよそうしてしらべよう。 ○測る物を決めて、長さを予想し、その理由を話す。 ○1 mものさしを使って、身の回りの物の長さを調べる。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>5 簡単な長さの計算ができる。[p. 85]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★長さの計算のしかたを考えよう。 ○1 m 50cm ± 40cmの計算をする。 ○「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の記録をcm単位で取らせ、100cmを超えることに気付かせて導入を図る。 ・三人一組で活動させるとよい。直線の学習を想起させ、端を合わせることを、紙テープをピンと張ることを確認する。 ・30cmものさしでは不便なので、長いものさしが必要なことに気付かせる。 ・100cmものさしのよさに気付かせる。 ・30cmものさしも併用した方が測りやすいことを伝える。 【評】cmよりも長い普遍単位mの必要性に気付く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・具体物を用いて、1 mの量感を養うようにする。 ・100cmを超える長さを、どのように測ったかを想起させ、100cmと何cmだったかを確認する。 ・記号の書き順に注意し、練習させる。 ・「1 m = 100cm」であることを確認する。 ・mとcmを使って表した長さを正確に読んだり書いたりできるようにさせる。特に、「1 m 4 cm」を「14cm」と書かないように注意させる。 【評】普遍単位mを使って長さを表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・活動を通して量感を養う。 ・挿絵を参考にし、二人一組で活動するとよい。 ・両手を広げた長さを測ったことを想起させ、1 mの長さを予想させる。 ・ペアやグループで、1 mに一番近い物を予想させる。 ・自分の体や教科書などの身近な物を使って表すと、どのくらいになるかを調べさせることで、量感を身に付けさせる。 【評】1 mの長さの物を探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・予想を立ててから測るようにさせる。 ・前時の紙テープを切った経験から、1 mの長さを基にして予想させる。 ・1 mものさしと比較したり、自分の身長と比べたりして予想させる。 ・予想と比較させながら、量感を養う。 【評】身の回りの物の長さを測る活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・既習の計算のきまりを確認してから取り組ませる。 ・cmとmmの加減計算では、同じ単位の数を計算したことを想起させる。 ・式にもmやcmを書くことを押さえる。 ・繰り上がりや繰り下がりのない計算を扱う。 【評】簡単な長さの加減計算を通して、「知識・技能」を評価する。

6 単元を振り返り，確認問題に取り組む。[p. 86・p. 87]

○「たしかめよう」に取り組む。

○学習の振り返りを書く。

- ・問題を通して，mとcmの関係や量感を確実につかませる。
- ・個別指導を通して，単元の学習内容の定着を図る。
- ・自己評価をし，不十分なところは教科書で振り返らせる。
- 【評】問題に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。
- ・100cmを超える長さについて分かったことや面白かったこと，もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

本単元は，1学期に学習したcmとmmよりも大きい単位としてmを学習する。ここでは，mを用いて長さを表すとともに，1mという長さがどれくらいであるかという量感を身に付けさせることが大切である。単元の導入に当たっては，自分の両手を広げた長さを測る活動を通して，mへの関心を高めると同時に，1mという長さの感覚を養うようにする。